

インターネットに関わる消費者トラブルを未然に防ぐための啓発教材

消費者教育・情報モラル学習

バラまきが止まらない！

－ 投げ銭トラブル編 －

動画で
学ぶ！



【動画】「バラまきが止まらない！」
－ 投げ銭トラブル編 －

<https://www.it-saga.jp/kyouzai/>

(IT サポートさが 情報モラル学習教材ページ)

アイドルのライブ配信ではファンが「投げ銭」して応援している。いいよなあ～。よし、俺もおばあちゃんのクレジットカードで登録しちゃおう！少しくらいなら大丈夫だろ・・・

■投げ銭（なげせん）とは

もともと大道芸、ストリートミュージシャンなどの演者へ小銭を投げ渡す行為を「投げ銭」と呼んでいました。同じような意味で使われる言葉にお金を紙に包んで渡す「おひねり」などもあります。大衆演劇などで、ひいきの役者のためにお札のレイを渡すファンの姿を目にしたことがある方もいらっしゃるでしょう。

インターネットでも、視聴者側から演者側へ金品を提供するシステムがあり、このサービスを「投げ銭」と呼ぶ場合があります。ネットを利用して資金提供者を募る「クラウドファンディング」を広義の「投げ銭」とする説もあり、若年層のネット利用者にとっては一般化していると言えるでしょう。

1) どんなコンテンツに投げ銭があるのか

有名なライブ動画配信系のコンテンツには、この投げ銭システムが実装され

ていると考えてよいでしょう。有名なところでは、以下のサービスがあります。

- ふわっち（投げ銭システム導入の老舗）
- SHOWROOM（アイドル系ライブ配信サービス）
- 17live（アイドル系ライブ配信サービス）
- YouTube Live（YouTube のライブ配信サービス）
- Twitch（ゲーム実況系ライブ配信サービス）
- ニコニコ生放送 ユーザー生放送（クリエイター奨励プログラムなど）
- ツイキャス キートス（ツイキャスのマネタイズサービス）

2) どんな投げ銭トラブルが発生するのか

トラブルの多くは、子どもが親や祖父母のクレジットカードやスマートフォンのキャリア決済を利用して、高額の「投げ銭」をしてしまうパターンです。

3) なぜ投げ銭トラブルが発生するか

おひねりの額がだんだん大きくなり一万円札の首飾りを渡す大衆演劇のファンの事例からわかるように、投げ銭は演者との距離感を縮め、数多くのファン・視聴者の中でも自分は特別であるという意識を生み出します。そして、ファン同士の競い合いを生み、エスカレートしがちなのです。（ファン心理）

中国では11歳の少女が複数のライブ配信者に合計200万元（日本円で3000万円以上）近い投げ銭を行い問題視されたのは記憶に新しいところです。

■投げ銭トラブルを防ぐには

お子さんに、しっかりした金銭感覚を身につけさせるのが基本です。大人はクレジットカードやキャリア決済の管理を確実にしなければなりません。

また子ども達がどんなコンテンツを利用しているのか、それらの利用時間や頻度など把握しておくことも大事です。

お金の大切さや投げ銭がファン心理を刺激して高額になりがちなことなど、ご家庭でも話し合っはいかかでしょう。

■参 考

-
- 国民生活センター

子どもが live 配信サービスで投げ銭

http://www.kokusen.go.jp/mimamori/kmj_mailmag/kmj-support150.html

夫のクレジットカードに心当たりのない高額な請求があり、カード会社に問い合わせたら、ライブ配信アプリでの課金だった。中学生の娘に聞くと、以前教えてもらった夫のクレジットカード番号を使いライブ配信で1回約1万円の投げ銭を何度もしたようだ。投げ銭や音楽等の購入で、数カ月で100万円以上の請求があった。(当事者：中学生 女性)